

# 平成28年度 第1回 宇都宮市冒険活動運営協議会会議次第

日 時 平成28年6月22日(水) 9:30～11:00  
会 場 宇都宮市冒険活動センター 会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員紹介

4 役員選出

5 議 題

(1) 報告事項

- ① 平成27年度事業報告について
  - ア 学校受入事業
  - イ 主催事業
  - ウ 一般受入事業

② その他

(2) 協議事項

- ① 平成28年度事業計画について
  - ア 学校受入事業
  - イ 主催事業
  - ウ 一般受入事業

② その他

6 学校利用視察

7 その他

8 閉 会

## 平成28年度 宇都宮市冒険活動運営協議会委員名簿

NO	区 分	委員名	団体名等
1	学校教育関係	高橋 英史	宇都宮市小学校長会 上河内東小学校長
2		黒川 浩	宇都宮市中学校長会 陽北中学校長
3	社会教育関係	田辺 陽子	宇都宮市P T A連合会
4		五十嵐 市郎	宇都宮市子ども会連合会
5		櫻井 政義	宇都宮市ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会
6		北條 成男	宇都宮市レクリエーション協会
7		古口 倭子	栃木県キャンプ協会
8	学識経験者	黒後 洋	宇都宮大学
9		沼尾 順市	篠井地区ゆたかなまちづくり協議会
10		金田 俊男	栃木県林業センター
11		坂内 剛至	有限会社ネイチャープラネット
12	公募	橋本 恵子	主婦
13		寺島 玄	会社員

# 平成27年度事業報告

## 冒険活動事業の考え方

里山の豊かな自然のなかでの冒険活動・自然体験活動を通して

- ・子どもたちが主体的に取り組み、それぞれにともなう様々な困難や課題を克服し、感動や達成感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、人間力や豊かな心をはぐくむ。
- ・自然に親しみ、理解を深めるとともに、人と人とのふれあいにより社会性や人間性の向上を図る。

### ア 学校受入事業

平成27年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

#### ◇ねらいに迫る冒険活動教室の実施

○指導者研修会の充実	中：年度当初、実技研修会実施。若手教員が多く参加し、活動の理解を深められ、プログラム作成に生かされた。 小：5回開催。同日利用校の日程、プログラムの調整ができた。
◎ナイトプログラムの推進	研修会で、必修で参加型演習の実施。 貸出用具を充実。計画の段階より職員が関わって助言。 ・キャンプファイヤー 小：4校 中：4校 ・キャンドルファイヤー 小：36校 中：10校 ・星空観察 小：1校 ・ナイトハイク 小：1校

#### ◇小中一貫教育・地域学校園への対応

○地域学校園を基本に日程を組み、交流可能なものとする。	【学校園での同日利用／交流活動実施校】 全小中学校：5学校園（小13校・中5校）／5学校園 全小学校：12校／12校 一部小学校：22校／22校 研修会で、職員を含めプログラム相談を行うことで、各学校園、学校のねらい、実態に応じた交流が行われた。 学校間の連絡、打合せ、共通理解が難しいとの声もあった。
○研修会での小中連携（活動、集会等での交流）の紹介	
○小中交流についての紹介	

#### ◇調査研究の充実

○アンケートによる教育効果の測定	市内93の小中学校の協力の下、アンケートを実施。 生きる力の向上に効果があることがわかった。※別紙参照
------------------	--

#### ◇インターンシップ受け入れへの対応

○中学生の宮っ子チャレンジ	79名（19校）
○高校生	3名（宇都宮商業高校3名）
○大学生	3名（宇都宮大学2名、信州大学1名）
○社会人の社会体験研修	教職10年目研修1名（宇都宮市）

### 成果 (◎) と課題 (△)

◎系統性を考えて、小学校での活動よりさらに厳しい難しいプログラムを組むことにより、自分を高めるよい機会になった。振り返りでは、センター職員がうまく生徒の考えを引き出していた。

◎学校間の調整や計画立案・準備・当日の運営にいたるまで、指導者研修会や学校訪問などで、綿密な打ち合わせをしたことで、学校の希望に極力対応できた。

◎小学校との交流活動を通して、中学生が大変成長することができた。小学生にやり方を教えたり、手助けしたり、リーダーシップをとる生徒が普段の学校生活より多くみられた。

△学校園での交流があったので役割分担や班編成について、交流校と打ち合わせをもちたかったが、できず、見切り発進になってしまった。

△中学校と連絡を取り合うのが大変で、3校の打ち合わせの時間を充分に取ることができなかった。

△前年度に事前研修に参加した教員が異動してしまい、細かい点や仮予定の意図などが分かりにくかった。

# 【参考】H27年度学校利用計画及び主催事業計画

中学校
  小学校
  地域学校園(全)
  地域学校園(一部)
  市立外学校など

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1	水	金	休館日	月	休館日	水	休館日	土	宇河水泳	火	豊郷中199
2	木	土		火		木	水泳大会(小)	日		水	
3	金	日	憲法記念日	水	河内中125	金	皇が丘中276	月		木	上河内中90 上河内東小27 上河内西小25 上河内中央小39
4	土	月	みどりの日	木		土		火		金	
5	日	火	こどもの日	金	県春季	日		水		土	
6	月	休館日	振替休日	土	県春季	月	休館日	木		日	
7	火			日	県春季	火		金		月	休館日
8	水	始業式		月	休館日	水		土		火	国本中156
9	木	入学式(中)	エンサタ	火	小指導研③ 9~10月(16校)	木	水泳大会(小)	日		水	
10	金	入学式(小)		水		金	泉が丘中243	月	宇大野外教育	土	
11	土	エンサタ	休館日	木	一条中148	土	エンサタ	火	冒険キャンプ ↓	日	台風で全市一斉休校のため1泊2日に短縮して実施
12	日			金		日		水	↓ ↓	月	鬼怒中209
13	月	休館日		土	エンサタ	月	休館日	木	↓ ↓	日	
14	火	中実研(全中学校対象25校)		日		火		金		月	休館日
15	水			月	休館日	水		土		火	
16	木	富士見小119	家族キャンプ	火	陽南中271	木	雀宮中央小98 雀宮東小38 雀宮南小78	日		水	西小26 西原小60 宮の原小58
17	金		↓	水		金	細谷小64 西が岡小67	月		木	
18	土	東高付属中	休館日	木		土	宇河総体	火		金	陽南小71 横川西小100
19	日			金	陽西中217	日	宇河総体	水		土	宇河新人
20	月	休館日		土		月	海の日・休館日	木	冒険活動アクティビティ研修	日	宇河新人
21	火	国・県学力学習調査		日		火	夏休み開始	金		月	敬老の日・休館日
22	水			月	休館日	水	岡本小50 岡本西小75	土		火	国民の休日
23	木	明保小89 姿川第二小104	宇河春季	火		木		日		水	秋分の日
24	金		利用者のための研修会 宇河春季	水		金		月	小指導研④11~12月(15校)	木	
25	土		休館日	木	城山中111 城山中央小30 城山西小15 城山東小40	土		火	瑞穂野地域学校園4年生	金	適応指導教室3教室交流会
26	日			金		日		水		土	ちびっこキャンプ
27	月	休館日		土	雀宮中189	月		木	陽北中221	日	↓
28	火	小指導研② 6~7月(14校)		日		火	県総体	金		月	休館日
29	水	昭和の日		月	休館日	水	宇河水泳 晃陽中82	土	ちびっこキャンプ 夏休み終了	火	田原中107 田原小38 田原西小50
30	木	宮の原中247		火	宇河水泳 晃陽中82 富屋小39 篠井小18	木	県総体	日		水	
31				日		金		月			

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	木	日		火	小指導研⑤2~3月(13校)	金	年始休館	月	休館日	火	
2	金	若松原中221	休館日	水		土	↓	火		水	横川中央小79
3	土		文化の日	木	今泉小103	日	↓	水	豊郷南小96	木	
4	日			金		月	休館日	木		金	横川東小152
5	月	休館日		土	陸上大会(小)	火		金	中央小46 築瀬小73	土	
6	火	瑞穂野中107 瑞穂野北小25 瑞穂野南小17 瑞穂台小73	旭中184	日	土曜日一斉授業(小)	水		土		日	
7	水			月	休館日	木	冬休み終了	日		月	休館日
8	木			火		金		月	休館日	火	
9	金	終業式		水	学力定着度調査	土	エンサタ	火		水	予備日
10	土		陸上大会(小) 予備	木		日		水	城東小78	木	予備日
11	日		横川中193	金	泉が丘小164	月	成人の日・休館日	木	建国記念日	金	
12	月	体育の日・休館日		土		火		金	峰小71 清原東小68	土	
13	火		緑が丘小88 陽光小57	日		水	御幸小74 平石北小36	土		日	
14	水			月	休館日	木	平石中央小17 御幸が原小126	日		月	休館日
15	木	始業式		火		金		月	休館日	火	
16	金	県新人	休館日	水	豊郷中央小116	土		火	小指導研H28①	水	パネル展
17	土	県新人		木		日		水	石井小95	木	↓
18	日		桜小68 国本中央小62	金	豊郷北小35 海道小33	月	休館日	木		金	↓
19	月	休館日		土		火		金	陽東小120	土	↓
20	火	小指導研⑤1月(10校)	宝木小133	日		水	五代小120	土		日	春分の日
21	水		土曜日一斉授業(中)	月	休館日	木		日		月	振替休日・休館日
22	木	古里中155		火		金	新田小91	月	休館日	火	
23	金		勤労感謝の日・休館日	水	天皇誕生日	土	国本西小15 晃宝小68	火		水	
24	土			木		日		水	清原中央小94 清原北小20	木	修了式
25	日	フェスティバル	昭和小49 上戸祭小93	金		月	休館日	木		金	
26	月	休館日		土	冬休み開始	火		金	清原南小83	土	
27	火		戸祭小136	日		水	白沢小48 岡本北小73	土		日	
28	水	予備日		月	休館日	木		日		月	休館日
29	木			火	年末休館	金	東小44 錦小52	月	休館日	火	
30	金	清原中242	休館日	水	↓	土		水		水	
31	土			木	↓	日		木		木	

# 平成27年度活動プログラム集計

分類	活動名	活動内容	小学校 (68校)			中学校 (25校)		
			実施校数	延人数	延回数	実施校数	延人数	延回数
A アドベンチャー 体験	1 登山	2～7時間の5コースの中から自分たちに適したコースを選択する。	19	1,274	19	21	3,545	25
	2 チャレンジハイク	自分たちで道を見つけたり、課題を解決したりしながらハイキングする。	10	655	12	7	243	14
	3 ナイトハイク	公園内を歩きながら、夜の自然を感じ取る。	1	78	1			
	4 テント生活	自分たちの手でテントの設営、撤収をして自然の中で宿泊体験する。						
	5 基地づくりキャンプ	公園内の原始体験ゾーンに自分たちだけの基地を作る。	12	365	13	11	459	19
	6 ソロキャンプ	1人用テントを公園内に設置し、1人での宿泊体験等を行う。						
	7 アドベンチャーゲーム	安全具を装着して、谷からつり橋まで登ったり、谷を渡ったりする。				24	1,678	58
	8 クライミングウォール	安全具を装着して、アリーナ内の5mの壁を手と足だけで登る。	13	773	17	19	1,159	44
	9 イニシアティブゲーム	グループで協力し、一人では解決できない課題を克服する。	55	3,686	64	18	1,045	29
	室内イニシア	※雨天時プログラムとして実施	10	751	13	2	128	2
	10 火おこし	火打ち石や火おこし道具を使い、昔の方法で火を起こす。	13	779	14			
	11 カヌー	逆川を利用して行う3人乗りのカヌー。往復約200mのコース。				19	1,010	36
	12 つり	釣り竿を自作し、えさのミミズも自分たちで集めて魚つりをする。				12	388	21
	13 ツリークライミング	木を傷つけない方法で木に登りながら、自然への興味関心を高める。	14	472	15	9	144	11
14 マウンテンバイク	MTBの楽しさを味わいながら、自然への興味関心を高める。				23	1,247	47	
B 食体験	1 野外炊飯	9種類のセットメニューの中から選択する。他に単品での発注も可。	24	1,416	24	24	4,237	44
	2 すいとんづくり	かまどを使ってすいとん作り、手作りの楽しさを味わう。						
	3 野外おやつづくり	かまどを使ってスティックパンやグッチオープンパンなどを作り、手作りの楽しさを味わう。	26	1,840	27	5	213	7
	4 手ぶちうどんづくり	農産加工所で、地域の人からうどんづくりを教わる。センターでも可	3	117	3	1	31	1
	5 チャレンジ料理	焚き火で焼いたり、土に埋めて蒸す等の原始的な調理を行う。						
C 自然 観察 体験	1 ネイチャーゲーム	自然の中での様々なゲームを通して、自分と自然の一体感を楽しむ。	16	786	19	5	63	5
	2 樹木オリエンテーリング	公園内にある10種類の樹木を探し出し、自然に対する興味関心を高める。						
	3 アニマルトラッキング	野山を歩きながら動物の痕跡を見つけ、動物の生態を推測する。				1	24	1
	4 バードウォッチング	森を歩きながら、野鳥を見たり、双眼鏡で詳しく観察したりする。				1	24	1
	5 森の句会	森の中で、自分の感じたままを俳句や短歌で表現する。	1	36	1			
	6 自然観察マップづくり	花、鳥、木等のテーマを決めて公園内外の自然を観察し、図に表す。						
	7 雨の日の自然観察	雨の日の動植物等を観察し、天候による違いを発見する。				3	39	3
	8 夜の自然観察	夜の自然の中で暗さや静けさ、夜の動植物の生態などを知る。						
	9 スターウォッチング	道具はなくても肉眼でたくさんの星座を観察することができる。	1	50	1			
	10 林業センター見学	栃県林業センターを見学し、林業等についての理解を深める。						
	11 水辺の自然観察	川の中に入り、水棲昆虫や水辺の生き物を観察する。						
D 創作	1 ネイチャークラフト	自然の素材を用いて創造性を膨らませ、オリジナル作品を作る。	22	871	24	10	637	20
	2 杉板焼き	野外炊飯場のかまどを利用して、木目や光沢の美しい焼き板を作る。	51	3,596	56	6	515	11
	3 草木染め	公園内の草木を集め、持参したハンカチやTシャツ等を染める。	4	142	4	4	66	4
E 野外 ゲーム 体験	1 篠井発見ラリー	篠井の自然や文化、生活に触れたり、ゲームをしたりしながら歩く。	26	1,859	27	1	33	1
	2 写真OL	篠井を地図と写真を持ってまわり、自然や史跡に触れる。						
	3 園内写真OL	地図と写真を持って園内の各ポイントを探しながら歩く。	42	2,867	42			
	4 園内ウォークラリー	コマ図をもとに園内を歩く。公園の施設や位置関係などがわかる。				1	7	1
	5 子どものもり探検ゲーム	公園内のポイントを探し、自然に関する問題を解きながら歩く。	13	875	13	1	101	1
	6 くるくるゲーム	園内を問題を解きながら歩く。公園の施設や位置関係などがわかる。	7	637	7	1	12	1
	7 ニュースポーツ	だれでも楽しめるゲームを自分たちでルールを工夫しながら行う。	10	704	10	8	546	15
	8 ディスクゴルフ	フライングディスクを使ったゴルフ。園内に3コースを設置。	1	31	1	6	89	7
F 交流	1 キャンプファイヤー	中学校では実行委員等を中心に実施。学級の出し物や歌、ゲーム等。	4	224	4	4	597	4
	2 キャンドルファイヤー	アリーナにシートを敷いて実施。セレモニーの工夫、歌やゲーム等。	36	2,196	37	10	1,571	10
	3 映画会	大画面のプロジェクターでDVDやVTRなどのソフトを鑑賞する。						
学校 独自	1 屋外活動	かくれんぼ、どろじん、園内散策等	22	1,285	22			
	2 交流レク・アリーナ活動・アイスブレイク	交流活動・学年レク・合唱練習等	15	887	15	1	224	1
	3 そり遊び(小)・ロープワーク(中)							
	4 その他	奉仕活動・学級活動等・鉱物探し等				5	926	5

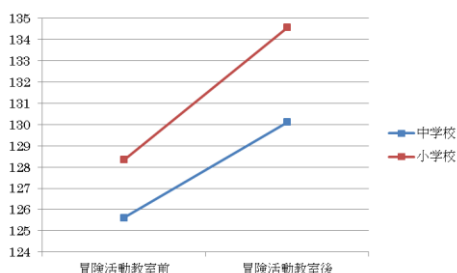
# 冒険活動教室の教育効果

## 冒険活動教室は、学びの出発点です！！

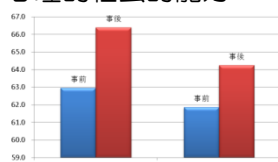
冒険活動教室の事前・事後のアンケート調査に基づく分析の結果、各能力別\*および合計値のいずれにおいても数値が向上し、冒険活動教室が児童生徒の「生きる力」の向上に効果があることが確認できました。

子どもたちの直接体験の不足は、各調査からもその現状が明らかになっています。直接体験の機会を意図的に、多く与えることも今日の教育の大きな役割といえます。そういった観点からも「冒険活動教室」は、子どもたちが直接体験から学ぶ貴重な機会です。開所から19年を迎えても、基本方針が色褪せることはなく、より重要性を増しています。

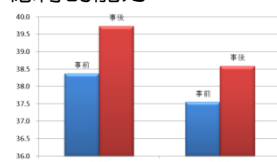
### 「生きる力」の変容



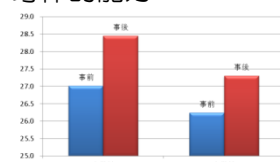
### 心理的社会的能力



### 徳育的能力



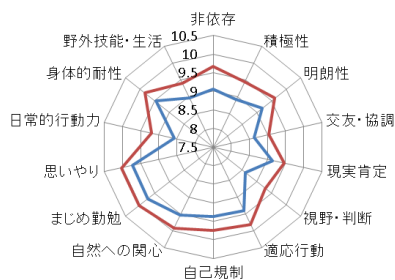
### 身体的能力



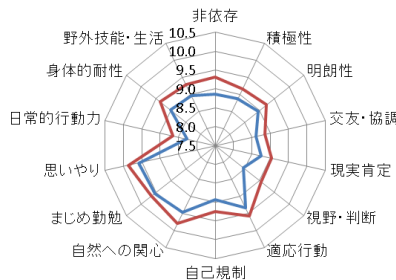
※心理的社会的能力：積極性、明朗性、交友・協調、視野・判断、適応行動  
 徳育的能力：自己規制、勤勉、思いやり  
 身体的能力：日常的行動、身体的耐性

### 因子ごとの比較

#### 小学校



#### 中学校



因子ごとの変容をみると小5、中1ともに「非依存」の向上が顕著であることがわかりました。これは、冒険活動教室での活動を通して、新たな自分の発見や友だちとのつながり、成就感を感じることで培われたものと考えられます。また、「視野・判断」においては、小5と中1では、体験する活動内容が大きく異なるにもかかわらず、ともに数値の向上が他の因子を上回っています。この結果から、冒険活動教室の活動だけではなく、家庭を離れて過ごす2泊3日の集団宿泊体験が大きく影響していることがわかります。

自然体験の減少、人間関係の希薄化など現代的な課題を解決する手立てとして、数値、先生の感想からも冒険活動教室が有効であることが示されています。

### 引率の先生の声

- ・教室の中で学ぶことが難しい「勇気」「仲間を見捨てず大切にしたい気持ち」「仲間と共有する達成感」など貴重な学びができた。(小学校)
- ・「一人の力ではどうにもならないことがある」ことを再認識できたといった言動が多く、協力し、認め、信じる大切さを学ぶことができた。(小学校)
- ・生徒が主体的に活動し、先読みをしながら動いていたことがすばらしく印象に残った。(中学校)
- ・食・住を集団で行う中で、計画通りに全体が活動できるようにするために、時間やルールを守ることの大切さを理解することができた。(中学校)

平成23年度より実施している本調査においても冒険活動教室の教育的効果（「生きる力」の向上）は明らかです。今後も効果的な冒険活動教室が実施できるように、学校と連携をとりながら、事業をすすめていきたいと思っております。

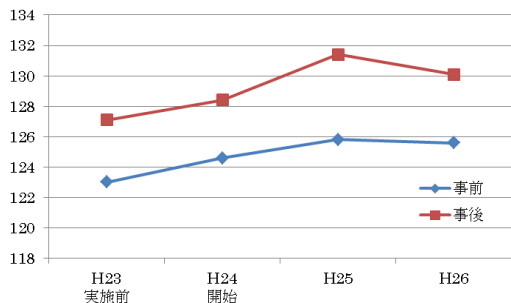
**冒険活動基本方針**

- ・里山の自然のなかで、子どもたちがゆとりある体験活動に主体的に取り組む
- ・さまざまな困難を克服し、感動や成功感を味わう
- ・自ら問題を解決する能力を養う
- ・ゆたかな心をはぐくむ

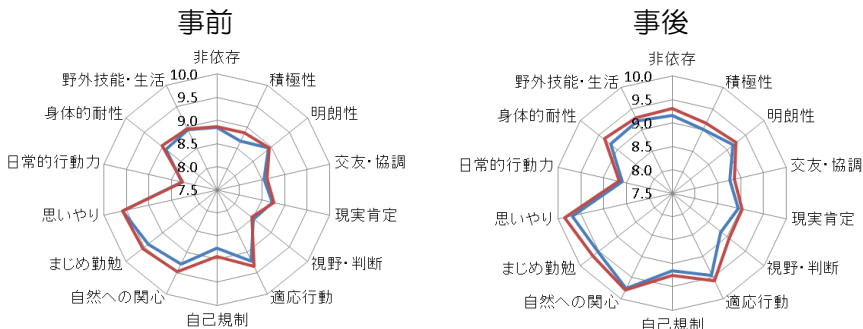
## 系統的な自然体験活動は、子どもたちの成長に必要です！

小中一貫教育実施前と実施後の中学1年生の比較

【生きる力の比較】



【因子ごとの比較】



冒険活動センターにおける「小中一貫教育」の実施前の中1と実施後の中1では「生きる力」について、事前、事後とも小5で冒険活動教室を実施している平成26年度の中1のほうが高い数値を示しました。変容の数値を見ても平成26年のほうが変容の幅が大きいことより、自然体験活動が小学校または中学校での単発の体験学習で終わるのでなく、継続していくことが必要であることが明らかになりました。また、移行期である平成25年度がより高い数値を示していることから、自然体験活動の機会が多ければ多いほど、子どもたちの「生きる力」が育まれていくことも再確認できました。

《深める活動》  
自然体験活動の基礎・基本となる  
“歩く”“火を扱う”活動を系統的  
に取り組む。

歩く活動  
・登山(四山)6時間  
・登山(五山)7時間  
火を扱う活動  
・野外炊飯  
・チャレンジ料理等

歩く活動  
・園内散策系ゲーム  
・登山(標名山)2時間  
火を扱う活動  
・火おこし  
・杉板焼き等

小5

自然体験活動の**基礎期**と捉え、自然と触れ合う楽しさや集団活動に児童が自発的、自主的に取り組む体験を積むことができるような活動を行う。

中1

自然体験活動の**発展期**と捉え、自然の中で困難なことに挑戦することや仲間と協力して課題を解決する体験を積むことができるような活動を行う。

《高める活動》※中学生限定の活動  
応用性を身につける体験を積むことができる活動に取り組む。

アドベンチャーゲーム・カヌー・MTB  
つり・ソロキャンプ等



冒険活動センターでは、小学5年生を「自然体験活動の基礎期」と捉え、中学1年生の「自然体験活動の発展期」へつなげていく支援を行っています。自然体験活動においてもそれぞれの発達段階に応じた体験をすることが重要であり、連続性を確保していくことが「生きる力」の育成には求められています。

「小中一貫・地域学校園」のもと、冒険活動センターでは、今後も小中一貫した自然体験活動をもとに、「失敗を恐れずに何事にも挑戦する強い意思や自然や仲間を大切にする豊かな心をもった宮っこの育成」に努めるとともに、冒険活動教室が日々成長していく子どもたちの成長の一助となるように、子どもたちの活動を支援していきます。

### 冒険活動センターからのお願い

冒険活動教室の実施にあたり、基本方針を理解し、児童生徒がねらいを実現できるよう計画・実施をお願いします。

併せて、「小中一貫教育・地域学校園」の趣旨についても理解し、積極的な取り組みをお願いします。

○自然体験活動の系統性について 登山の実施についての理解、協力をお願いします。

○地域学校園交流活動の推進について 積極的な交流活動の実施をお願いします。

○効果を持続するために 3日間のねらいでなく、長期のねらいを設定し、事前・事後を含めた指導計画を作成してください。センター、地域との連携を深め、実施に臨んでください。

# 【参考】平成27年度保健室利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	頭痛	3	7	3	3	3	1	0	4	2	1	2	1	30
	発熱	5	0	0	8	0	1	1	3	2	8	13	0	41
	腹痛	3	3	1	1	2	0	3	3	0	1	1	0	18
	嘔吐	1	0	0	3	0	4	1	0	0	0	1	0	10
	気分不良	2	3	2	5	1	4	4	3	4	0	3	0	31
	その他	3	1	2	1	0	3	1	2	0	1	6	0	20
	計	17	14	8	21	6	13	10	15	8	11	26	1	150
外科	擦過傷	6	9	0	4	1	3	3	6	1	2	1	1	37
	切り傷	1	2	5	3	0	0	1	0	0	2	9	3	26
	とげ	10	10	3	4	1	4	1	5	2	10	14	0	64
	虫刺され	25	11	5	16	2	9	0	3	7	0	3	17	98
	火傷	2	4	3	6	0	3	0	0	0	2	1	1	22
	捻挫	2	4	4	6	0	3	9	7	1	1	3	4	44
	打撲	6	7	10	8	0	14	4	12	3	9	8	2	83
	骨折	0	0	3	2	0	0	1	0	0	0	0	0	6
	鼻血(外科)	1	0	1	1	0	2	0	2	0	0	0	0	7
	その他	1	7	11	7	2	6	2	2	4	5	9	1	57
	計	54	54	45	57	6	44	21	37	18	31	48	29	444
合計	71	68	53	78	12	57	31	52	26	42	74	30	594	

帰宅 65  
送院 23

## 【詳細】

27年	頻度	発生区分	傷病名	初回			合計
				計			
				小計	内送院	内帰宅	
内科	活動中		頭痛	13	0	3	52
			発熱	7	0	7	
			腹痛	10	0	0	
			嘔吐	2	1	2	
			気分不良	12	0	0	
			その他	8	0	2	
	生活中		頭痛	16	0	6	82
			発熱	24	0	16	
			腹痛	8	0	2	
			嘔吐	6	0	3	
			気分不良	17	0	1	
			その他	11	2	6	
外科	活動中		擦過傷	24	0	0	216
			切り傷	18	1	1	
			とげ	28	0	0	
			虫刺され	20	1	0	
			火傷	21	1	0	
			捻挫	23	1	0	
			打撲	47	1	1	
			骨折	3	3	3	
			鼻血(外科)	1	0	0	
			その他	31	3	1	
	生活中		擦過傷	6	0	0	92
			切り傷	5	0	0	
			とげ	35	0	0	
			虫刺され	0	0	0	
			火傷	0	0	0	
			捻挫	9	2	2	
			打撲	21	2	1	
			骨折	0	0	0	
			鼻血(外科)	6	0	1	
			その他	10	1	1	

27年	頻度	発生区分	傷病名	再来			合計
				計			
				小計	内送院	内帰宅	
内科	活動中		頭痛	1	0	0	5
			発熱	4	0	0	
			腹痛	0	0	0	
			嘔吐	0	0	0	
			気分不良	0	0	0	
			その他	0	0	0	
	生活中		頭痛	0	0	0	11
			発熱	6	0	1	
			腹痛	0	0	0	
			嘔吐	2	0	1	
			気分不良	2	0	1	
外科	活動中		擦過傷	1	0	0	29
			切り傷	2	0	0	
			とげ	0	0	0	
			虫刺され	0	0	0	
			火傷	1	0	0	
			捻挫	9	0	0	
			打撲	9	0	0	
			骨折	0	0	0	
			鼻血(外科)	0	0	0	
			その他	7	0	0	
	生活中		擦過傷	4	0	0	13
			切り傷	0	0	0	
			とげ	1	0	0	
			虫刺され	0	0	0	
			火傷	0	0	0	
			捻挫	2	0	0	
			打撲	6	0	0	
			骨折	0	0	0	
			鼻血(外科)	0	0	0	
その他	0	0	0				

時間帯別利用内訳		
朝	8:30~12:00	150
昼	12:00~17:00	231
夜・早朝	17:00~ 8:30	218

外科傷病発生場所ランキング		
1位	登山	53
2位	ロッジ内	49
3位	イニシア	41
4位	園内広場・森	21
5位	野外炊飯場	17

## 【大きなけがの状況について】

中学校教師	右手火傷	キャンドルファイヤー中火傷
中学生男子	左腕亀裂骨折	登山中転倒、あご切傷
中学生女子	左手指腱断裂	宮チャレ薪割中、なたで裂傷
中学生男子	蜂刺され	登山中スズメバチに刺される
中学生男子	右足首剥離骨折の疑い	園内で階段踏み外し
中学校教師	左手骨折	カヌーの活動で川で転倒
小学生女子	靭帯損傷	登山で左足を捻る



## 平成 27 年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

## ◇魅力ある主催事業の展開

○企画立案の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族ふれあいキャンプ 5/16 (土)～17日 (日) 参加者 11 家族 40 名 家族間、参加家族間の交流が図れる活動展開を工夫 テント設営・ネイチャーゲーム・野外炊飯 家族選択 (登山、杉板焼き、写真オリエンテーリング)</li> <li>・冒険キャンプ 8/ 11 (火)～13日 (木) 参加者 32 名 いろいろなチャンスに自ら気づき、それをつかむために 一歩踏み出して行動できるような活動展開、支援を工夫 イニシアティブゲーム・野外炊飯・夏祭り・ナイトハイ ク・朝食づくり・飯盛山登山・川遊び・キャンプファイ ヤー・ネイチャーゲーム</li> <li>・ちびっこキャンプ 8/29 (日) 及び 9/26 (土)～27日 (日) 参加者 24 名 初めてのキャンプを通し、自然の中で遊ぶ楽しさ、仲間 とともに遊ぶ楽しさを感じるとともに、自分のことは自 分でやることを意識した活動展開、支援を工夫 アイスブレイク・ネイチャーゲーム・ 野外炊飯・キャンプファイヤー 登山等</li> </ul>
◎エンジョイサタデーの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5 回実施 参加者合計 207 名 火おこし&amp;杉板焼き 1・ぼうけん木のぼり 2 火おこし&amp;草木染め 1 クライミングウォール&amp;ニュースポーツ 1</li> </ul>
○地域の活用 (人材, 食材, 自然)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冒険キャンプにおいて、宝木用水石那田、大網の揚水組合 の協力の下、川遊びを実施</li> <li>・子どものもりフェスティバルでの連携 篠井地区まちづくり協議会 (うどん、ピザ、農産物等の販売) 松寿会 (竹馬・竹とんぼ・篠竹鉄砲の作成・指導)</li> </ul>
○他団体との連携・協力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション協会</li> <li>・ネイチャーゲーム協会 等</li> </ul>

## ◇指導者養成事業の充実

○自然体験活動指導者養成研修会の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8/ 10 (月)～13 (木) 3泊4日 参加者 29 名 ※宇都宮大学との連携事業</li> </ul>
○養成指導者の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南図書館フェスティバル、子どものもりフェスティバルを中 心にセンター主催事業でボランティアとして活用</li> </ul>
○養成指導者のスキルアップ対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・随時スキルアップ研修を開催</li> </ul>

## 成果 (◎) と課題 (△)

- ◎各事業において、趣旨・テーマに沿った活動を企画、展開することができ、アンケートの結果からも参加者の満足度が高いことがわかった。
- ◎以前の研修会で養成した指導者が、子どものもりフェスティバルやリーダーバンクなどの各種事業へ参加協力いただけたことで、活用が図ることができた。
- △地域との関わりについては、子どものもりフェスティバルを中心に、地域の団体に協力いただいた。さらに、地域と連携した事業が展開できるよう事業内容の検討の必要がある。

# 平成 27 年度主催事業一覧

区分	事業名	期 日	期間	対 象	(対象人数) 募集人数	参加者数
指導者養成事業	小学校冒険活動指導者研修会	① 2月24日(火)	日帰り	4・5月実施校教員(5校)	5名	<b>5名</b>
		② 4月28日(火)	日帰り	6・7月実施校教員(12校) 同日利用中学校(2校)	14名	<b>11名</b>
		③ 6月9日(火)	日帰り	9・10月実施校教員(13校) 同日利用中学校(3校)	16名	<b>16名</b>
		④ 8月24日(月)	日帰り	11~12月実施校教員(15校)	15名	<b>17名</b>
		⑤ 10月20日(火)	日帰り	1月実施校教員(10校)	10名	<b>9名</b>
		⑥ 12月1日(火)	日帰り	2・3月実施校教員(13校)	13名	<b>12名</b>
	中学校冒険活動指導者研修会	※各校との相談により決定	日帰り	全中学校(25校)	25校	<b>全25校</b>
	中学校冒険活動実技研修会	4月14日(火)	日帰り	全中学校教員(25校)	25名	<b>21名</b>
	冒険活動アクティビティー研修会	8月20日(木)	日帰り	宇都宮市立小中学校教員希望者	30名	<b>20名</b>
	自然体験活動指導者研修会	8月10日(月)~13日(木)	3泊4日	宇都宮大学 学生	30名	<b>29名</b>
利用者のための研修会	5月24日(日)	日帰り	各種機関・団体などの指導者・代表者及び一般利用者	50名	<b>33名</b>	
一般公募事業	家族ふれあいキャンプ	5月16日(土)~17日(日)	1泊2日	市内在住または在勤の人で、小中学生を含む親子	20家族	<b>11家族 40名</b>
	冒険キャンプ	8月11日(火)~13日(木)	2泊3日	宇都宮市在住の小学5年生から中学生	50名	<b>33名</b>
	ちびっこキャンプ	8月29日(土) 9月26日(土)~27日(日)	日帰り 1泊2日	宇都宮市在住の小学1・2年生 日帰り, 1泊2日の2回とも参加できる人	24名	<b>24名</b>
施設理解利用促進事業	子どものもりフェスティバル	10月25日(日)	日帰り	どなたでも	制限なし	<b>1000名</b>
	パネル展 ※クラフト体験コーナー	3月16日(水)~21日(月) ※3月21日(月)	6日間 ※1日	どなたでも	制限なし	<b>クラフト体験のみ 69名</b>
	エンジョイサタデー	不定期土曜日(5回) 4/11 5/9 6/13 7/11 1/9	午前中	どなたでも ※10名以上での参加の場合は、事前に連絡	制限なし	<b>全5回 207名</b>

## 平成 27 年度 具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

## ◇利用促進

○南図書館フェスティバルへの協力	・4/26 (日) 南図書館で開催。職員が南図書館に出向きクラフト体験コーナーを開催。 46組 98名。
○南図書館でパネル展の実施	・宇都宮南図書館との連携 南図書館ギャラリーでパネル展の開催 ・3/16 (水) ~21 (月) ・21 日 (月) には職員が南図書館に出向き、クラフト体験コーナーを開催 参加者 31組 69名

## ◇公園内設備の充実

◎園内施設の修繕及び環境整備	・ロッジに向かう階段、炊飯場前デッキ等緊急性の高いものから計画的に修繕を実施。
○スズメバチ対策	・専門業者による駆除を実施。 ・樹液が出ている木をビニールで巻いたり、危険箇所をロープで囲んだりなど、利用者への注意喚起を行った。
○昆虫・沢ガニ採集に対する対応	・看板をたてるとともに、利用者への呼びかけを行った。

## ◇活動の充実

○事前打合せ／下見／活動紹介の充実	・育成会や社会教育団体など団体の代表者と積極的に連絡をとり、下見、打合せを実施。
◎リーダーバンクの活用	・のべ 30 団体 1566 人に対して、163 名の指導員を紹介 ・指導が好評のようで、リピーターが多い。
○利用者のための研修会の充実	・5/24 実施 33 名参加 広く施設特性の理解及び利用促進を図ることができた。

## 成果 (◎) と課題 (△)

- ◎南図書館でのクラフト体験やパネル展により、施設のPR活動ができ、利用促進に繋がっている。
- ◎職員による応急的な園内施設の修繕及び整備を随時行うことで、利用しやすい環境を整えている。
- ◎電話連絡をしたり、下見の際に当日の活動打合せを綿密に行ったりすることで、各団体のニーズにあった利用をしていただいている。そのことが、利用者の満足度につながっていると考える。
- ◎リーダーバンク利用者の伸びが見られ、特にリピーターが増えている。アンケートから有意義な活動ができた利用者の方にも好評いただいている。
- △リーダーバンクが好評なことにより、指導者の確保が難しい状況にある。特に連休や夏休みなどは、人材の確保が難しい状況である。今後どのように指導者を確保していくか、システムの見直しなどについて検討の必要がある。
- △開所後 20 年が経過し、施設、設備の老朽化が多く見られるため、今後計画的な修繕が必要である。

# 【参考】平成27年度利用状況一覽

## 1 利用状況総括表

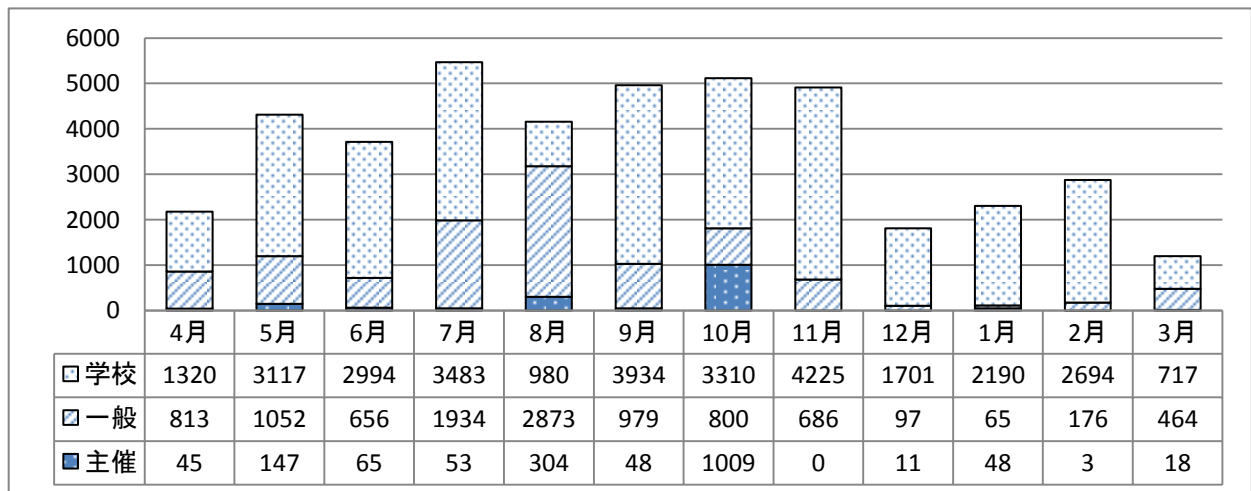
	団体数 (団体)	実人数 (人)	延人数 (人)	開所日数 (日)	
平成 8 年度	369	18,006	37,730	227	※1
平成 9 年度	464	20,356	48,178	315	
平成10年度	415	20,157	45,047	314	
平成11年度	414	18,305	42,690	316	
平成12年度	436	19,647	43,059	314	
平成13年度	427	20,004	43,777	314	
平成14年度	456	19,265	42,478	313	
平成15年度	472	19,047	41,171	315	
平成16年度	474	19,382	41,748	314	※2
平成17年度	493	20,200	44,540	314	
平成18年度	524	21,669	45,920	314	
平成19年度	488	22,294	47,393	314	
平成20年度	472	21,394	46,936	313	
平成21年度	476	19,904	43,198	313	
平成22年度	445	20,149	44,238	296	※3
平成23年度	389	18,580	42,714	292	※3
平成24年度	530	20,459	44,023	318	
平成25年度	511	20,333	45,558	317	
平成26年度	445	19,074	42,764	321	
平成27年度	452	19,064	43,008	320	
合 計	9,152	397,289	876,170	6,174	

※1 平成8年7月5日開所

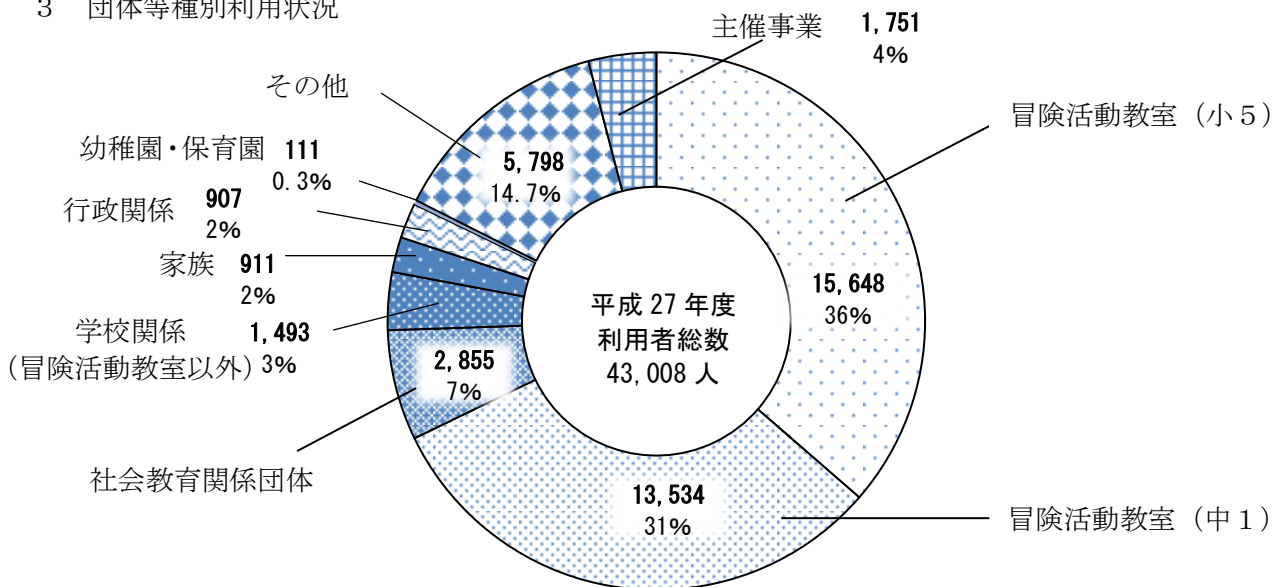
※2 平成16年度以降フェスティバルを含む

※3 平成23年3月1日以降避難所として運営（～平成23年5月9日）

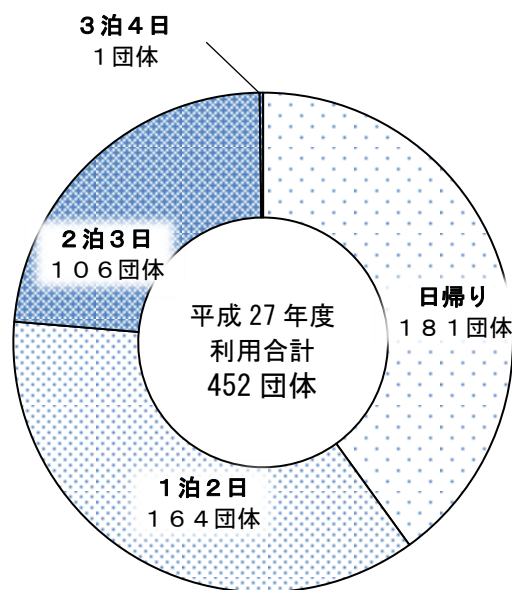
## 2 月別利用状況（延べ人数）



3 団体等種別利用状況



4 日数別利用状況



5 宇都宮市及び宇都宮市外の利用団体内訳 (H27年度)

地域	団体数			実人数			延人数		
	冒険活動教室	一般利用	合計	冒険活動教室	一般利用	合計	冒険活動教室	一般利用	合計
宇都宮市内	93	237	330	9724	6679	16403	29172	8852	38024
宇都宮市外 (県内)		70	70		1497	1497		2514	2514
栃木県外		52	52		1164	1164		2460	2460
合計	93	359	452	9724	9340	19064	29172	13836	43008

【宇都宮市外利用内訳】

栃木県内

日光市	14	鹿沼市	8	小山市	9	さくら市	5	那須塩原市	2
下野市	2	那須烏山市	2	矢板市	3	栃木市	4	佐野市	1
下都賀郡	7	塩谷郡	9	芳賀郡	3	上三川	2		

関東地方

東京都	8	埼玉県	24	茨城県	3	千葉県	4	神奈川県	4
群馬県	2	山梨県	1						

関東以外

山形県	1	福島県	1	大阪府	1	静岡県	1	愛知県	2
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---

## 【参考】平成27年度一般利用者アンケートの集計

回収数：95

1 利用回数	初めて	2回	3回	4回以上
	51	13	9	18

2 認知媒体	市広報	新聞	雑誌	学校	HP	紹介	その他
※重複	5	0	1	22	27	26	12

3 利用施設	ロッジ	テント	炊飯場	アリーナ	工作室	その他
※重複	37	22	53	2	2	3

4 満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	満足度 91%
	59	28	8	0	0	0	

### 5 意見・要望

- ・ 保育園児でもできるアクティビティがあるとよいと思う。遊具がもう少しあるとよいと思った。
- ・ バーベキュー場の上がかなり埃っぽいので、少し水を撒くなどしてもらえるとありがたい。
- ・ 斜面の階段整備を。幼児には段差が大きいところがある。炊飯場の水場が幼児には高すぎる。
- ・ テント内が埃っぽかった。
- ・ LPガスのコンロを使用している。公園内、火の使用禁止なのでキャンプの楽しみに限定すると楽しさ半減だった。
- ・ 持込テントサイトにあがるところに階段があるとよい。
- ・ 荷物運びが重労働。炊飯場まで車で運べると便利。リヤカーでロッジに荷物を運ぶのが苦勞した（同意見4）
- ・ ロッジのジュース類の補充を。
- ・ ロッジの和室にありがたくさんいた。
- ・ 移動中、真っ暗なのでもう少し外灯があればよい。（同意見3）
- ・ センターの利用、初めてだと利用の流れがわからなかった。前もって生活のしおりが欲しい。
- ・ 施設が傷んできているようで、補修が必要になっているところも見られる。
- ・ キャンプサイトまでの下り坂が危険だった。
- ・ トイレにウォシュレットが欲しい。
- ・ センターハウスや食堂でW i f i を使えるようにして欲しい。
- ・ 炊飯場とおふろの利用時間をあと1時間のばして欲しい。

# 【参考】平成27年度リーダーバンク実施状況

No.	期日			団体名	人数	活動内容	指導者数
	月	日	曜				
1	4	3	金	東武宇都宮百貨店	12名	イニシア	2名
2		4	土	有隣館道場	18～23名	ネイチャーゲーム	3名
3		9	木	(株)オートテックジャパン	48名	イニシア	7名
4		17	金	東高附属中	105名	イニシア・ニュースポーツ・ 篠井発見ラリー	8名
5		18	土	東高附属中	105名	イニシア・ニュースポーツ・ 篠井発見ラリー	8名
6		19	日	東高附属中	105名	イニシア・ニュースポーツ・ 篠井発見ラリー	8名
7	7	12	日	緑のまちづくり課	60名	野外炊飯	5名
8		24	金	幼児体育研究所	80名	イニシア	10名
9		25	土	高根沢町子ども育成会連絡協議会①	60名	イニシア	8名
10		29	水	宇都宮市スポーツ少年団本部	70名	イニシア・アドベ	7名
11		30	木	宇都宮市スポーツ少年団本部	70名	イニシア・アドベ	7名
12		29	水	社会教育主事講習(河内教育事務所)	23名	イニシア・野外炊飯	4名
13	25	土	高根沢町子ども育成会連絡協議会②	60名	写真OL	4名	
14	8	1	土	北生涯学習センター	30名	ネイチャーゲーム	3名
15		6	木	埼玉県白岡市教育委員会	43名	ネイチャーゲーム	4名
16		7	金	塩谷町立塩谷中学校	30名	イニシア	4名
17		17	月	小山市体育協会	46名	イニシア	5名
18		4	火	海道小宮っ子ステーション放課後子ども教室	91名	ネイチャーゲーム	8名
19	10	13	火	日光市立小林小学校	22名	イニシア	2名
20		13	火	日光市立大桑小学校	45名	イニシア	5名
21		14	水	日光市立大桑小学校	50名	ネイチャーゲーム	2名
22		15	木	日光市立所野小学校	16名	イニシア	2名
23		15	木	東金市立東小学校①	56名	イニシア	8名
24		15	木	東金市立東小学校②	57名	イニシア	8名
25		15	木	壬生町立稲葉小学校	20名	イニシア	3名
26		16	金	壬生町立北小学校	90名	イニシア	10名
27		18	土	フィールドビック	63名	イニシア	7名
28		24	土	県環境森林政策課・市農林環境整備課	30名	ピザづくり	3名
29	11	8	日	緑のまちづくり課	62名	おやつ作り	6名
30		14	土	河内中サッカー部	17名	イニシア	2名

実施人数 1566名

合計指導者数 163名

# 平成 28 年度事業計画

## ◆事業の考え方

里山の豊かな自然のなかでの冒険活動・自然体験活動を通して

- ・子どもたちが主体的に取り組み、それぞれにともなう様々な困難や課題を克服し、感動や達成感を味わい、自ら問題を解決する能力を養うとともに、人間力や豊かな心をはぐくむ。
- ・自然に親しみ、理解を深めるとともに、人と人とのふれあいにより社会性や人間性の向上を図る。

## ◆平成 28 年度具体目標 (◇)・具体策 (○)・重点課題 (◎)

### I 学校利用

◇ねらいに迫る冒険活動教室の実施	○学校との連携 【中学校】各学校に訪問し、学年会等でねらいに迫るプログラムの作成を行う。 【小学校】当センターで実施する研修会において、職員と教員とで事前調査用紙をもとにねらいに迫るプログラムの作成を行う。
◇研修会の充実	○引率者対象の指導者研修会の充実 ○市内教職員を対象とした自然体験活動研修会の開催
◇調査研究の実施及び成果の提供	◎新尺度による教育効果の測定 ※「道徳性」に及ぼす効果(仮) 児童・生徒対象アンケート
◇インターンシップ受け入れへの対応	○中学生の宮っ子チャレンジ ○高校生、大学生インターンシップ ○社会人の社会体験研修

### II 主催事業

◇魅力ある主催事業の展開	◎一般公募事業における内容等の見直し・検討 ・家族ふれあいキャンプ ・もりであそぼう！ ・冒険キャンプ ・森のレストラン ・ちびっこキャンプ
◇施設の周知及び利用促進	○利用者のための研修会の実施 ○子どものもりフェスティバルの実施 ○冒険活動パネル展の開催 宇都宮南図書館でのパネル展示、ネイチャークラフト体験
◇地域連携	○篠井町の人材、食材、自然の活用 ○20周年記念事業での篠井地域との連携 ・熱気球等 ○宇都宮大学との連携 ・「野外教育」の開講
◇指導者養成事業の充実	○自然体験活動指導者養成研修会の開催 ○養成指導者の活用・養成指導者のスキルアップ対策

### III 一般利用

◇利用促進	○食育フェアにおけるパネル展示 ○冒険活動教室保護者会等での主催事業案内などの配布
◇公園内の安全管理	○安全点検・放射線量測定の実施 ◎園内設備の修繕・園内環境整備
◇サービス (おもてなし) の充実	○利用の際の事前打合せ、下見、活動紹介の充実 ○入所、炊飯場利用時のオリエンテーションの対応 ○リーダーバンク事業の紹介



# H28年度学校利用計画

   中学校  
    小学校  
    地域学校園(全)  
    地域学校園(一部)  
    市立外学校など

1	金		日	水		金	小・水泳大会	豊郷中 184	月	スポ少一研	木	横川中央65 東100	1
2	土		月	休館日	木				火	↓	金		2
3	日		火	憲法記念日	金	県・春季大会	東41 錦61		水	↓	土		3
4	月	休館日	水	みどりの日	土	県・春季大会			月	休館日	木		4
5	火		木	こどもの日	日	県・春季大会	利用研		火		金		5
6	水	市新採研	金		月	休館日		国本中 143	土		火	宝木中 137	6
7	木	↓	土		火			一条中 148	日		水		7
8	金	↓	日	始業式	水				月		木		8
9	土		月	休館日	木		清原中 242		火	宇大野外教育	金	城山中48 城西11 城山東24 城山中110	9
10	日		火		金		若松原中 237		水	冒険キャンプ ↓	土		10
11	月	休館日	水	入学式(中)	土				月	休館日・小水泳大会予備日	木	山の日 ↓ ↓	11
12	火		木	入学式(小)	日				金	↓ ↓	月	休館日	12
13	水		金		月	休館日	陽北中 210		土		火		13
14	木	小指導研②(6・7月19校)	土		火		横川中 196		日		水	清原中央85 清原北19	14
15	金	中実技研	日		水			中 央23 豊郷南113	月		木		15
16	土		月	休館日	木	中教研(教科外)			土	宇河総体野球	火	宇河新人①	16
17	日		火		金		上河内東29 上河内西18 上河内中央33 上河内中74		日	↓	水	宇河新人②	17
18	月	休館日	水		土				月	海の日・休館日	木	中学校英語教員研修	18
19	火	国・学力調査	木		日		新 田 98		火		金	↓	19
20	水		金	宇河春季①	月	休館日			土		火	教老の日・休館日	20
21	木		土	宇河春季②	火	家族キャンプ			日		水		21
22	金		日	宇河春季③	水				月	小指導研④(11月11校)	木	富 屋45 篠 井18 晃 陽中62	22
23	土		月	休館日	木		田 原42 田 原西62 田 原中119		火	アクティビティ研修	金		23
24	日		火	中教研(教科)	金				水		土	ちびっこキャンプ②	24
25	月	休館日	水		土		白 沢59 岡 本北60		月		木	↓	25
26	火		木		日				金	予備	月	休館日	26
27	水		金		月	休館日			土		火	ちびっこキャンプ①	27
28	木		土		火		瑞穂野北22 瑞穂野南20 瑞穂台76 瑞穂野中104		日	県・総体	水	河内中 148	28
29	金	昭和の日	日		水				月	県・総体	木		29
30	土		月	休館日	木				火		金	横川東 151	30
31	日		火		水		陽東中 309		日		月		31

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	土	火	木	日	水	水	1
2	日	水	金	月	木	木	2
3	月	休館日	土	火	金	金	3
4	火	小指導研⑤(12・1月15校)	日	水	土	土	4
5	水		月	木	日	日	5
6	木		火	金	月	月	6
7	金	1学期終業式	水	土	火	火	7
8	土	NEAL研修	木	日	水	水	8
9	日	↓	金	月	木	木	9
10	月	体育の日・休館日	土	火	金	金	10
11	火		日	水	土	土	11
12	水		月	木	日	日	12
13	木	2学期始業式	火	金	月	月	13
14	金	県・新人大会	水	土	火	火	14
15	土	県・新人大会	木	日	水	水	15
16	日	フェスティバル	金	月	木	木	16
17	月	休館日	土	火	金	金	17
18	火		日	水	土	土	18
19	水		月	木	日	日	19
20	木		火	金	月	月	20
21	金		水	土	火	火	21
22	土		木	日	水	水	22
23	日		金	月	木	木	23
24	月	休館日	土	火	金	金	24
25	火		日	水	土	土	25
26	水		月	木	日	日	26
27	木		火	金	月	月	27
28	金		水	土	火	火	28
29	土		木	日	水	水	29
30	日		金	月	木	木	30
31	月	休館日	土	火	金	金	31

# 平成 28 年度主催事業一覧

区分	事業名	期 日	期間	対 象	(対象人数) 募集人数	参加者数
指導者養成事業	小学校冒険活動指導者研修会	① 2月16日(火)	日帰り	4・5月実施校教員(4校)	4名	<b>2名</b>
		② 4月14日(木)	日帰り	6・7月実施校教員(16校)同日利用中学校(3校)	19名	<b>19名</b>
		③ 6月21日(火)	日帰り	8~10月実施校教員(12校)同日利用中学校(2校)	14名	<b>12名</b>
		④ 8月22日(月)	日帰り	11月実施校教員(11校)	11名	
		⑤ 10月4日(火)	日帰り	12~1月実施校教員(15校)	15名	
		⑥ 11月29日(火)	日帰り	2・3月実施校教員(10校)	10名	
	中学校冒険活動指導者研修会	※各校との相談により決定	日帰り	全中学校(25校)	25校	
	中学校冒険活動実技研修会	4月15日(金)	日帰り	全中学校教員(25校)	25名	<b>16名</b>
	冒険活動アクティビティー研修会	8月23日(火)	日帰り	宇都宮市立小中学校教員希望者	30名	
	自然体験活動指導者研修会	8月9日(火)~12日(金)	3泊4日	宇都宮大学 学生	30名	
10月8日(土)~9日(日)		1泊2日	自然体験活動に興味のある18才以上の人	20名		
利用者のための研修会	6月5日(日)	日帰り	各種機関・団体などの指導者・代表者及び一般利用者	50名	<b>11団体 40名</b>	
一般公募事業	家族ふれあいキャンプ	5月21日(土)~22日(日)	1泊2日	市内在住または在勤の人で、小中学生を含む親子	20家族	<b>16家族 55名</b>
	冒険キャンプ	8月10日(水)~12日(金)	2泊3日	宇都宮市在住の小学5年生から中学生	50名	
	ちびっこキャンプ	8月27日(土) 9月24日(土)~25日(日)	日帰り 1泊2日	宇都宮市在住の小学1・2年生 日帰り, 1泊2日の2回とも参加できる人	24名	
	もりであそぼう! ~めざせ!遊びの達人~	12月4日(日)	日帰り	宇都宮市在住の小学3・4年生	24名	
	森のレストラン~つくって食べよう~	1月8日(日)	日帰り	市内在住または在勤の人を含むご家族・グループ	12組	
事業 利用促進 施設理解	子どものもりフェスティバル	10月16日(日)	日帰り	どなたでも	制限なし	
	パネル展(南図書館にて) ※クラフト体験コーナー	3月15日(水)~19日(日) ※3月19日(日)	5日間 ※1日	どなたでも	制限なし	

## 宇都宮市冒険活動運営協議会設置要綱

### (設置)

第1条 本市教育委員会は、冒険活動事業を実施するにあたり広く市民の意見を聴き、事業運営の円滑な推進を図るため、宇都宮市冒険活動運営協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

### (所掌事務)

第2条 協議会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 冒険活動事業に関すること。
- (2) 宇都宮市冒険活動センターの利用及び普及に関すること。
- (3) その他運営について重要な事項に関すること。

### (組織)

第3条 協議会は、委員13名以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから教育長が委嘱する。

- (1) 小学校及び中学校の代表者
- (2) 社会教育関係団体の代表者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選考された者

### (委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱日から2年間とする。ただし、欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

### (会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長を置き、委員がこれを互選する。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総括する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (会議)

第6条 協議会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。

### (庶務)

第7条 協議会の庶務は、スポーツ振興課冒険活動センターにおいて処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成8年7月5日から適用する。

附 則

この要綱は、平成11年7月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成18年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成20年6月1日から適用する。